

実務経験のある教員等による授業科目一覧【柔道整復学科】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
柔道整復学・総論Ⅰ	1	味村 吉浩		
柔道整復学・総論Ⅱ	1	栗山 貴行		
柔道整復学・総論Ⅲ	1	谷口 佳奈美		
柔道整復学・各論Ⅰ	2	尾藤 何時夢		
柔道整復学・総論Ⅳ	2	尾藤 何時夢	範 菜々美	
柔道整復学・総論Ⅴ	1	範 菜々美		
基礎柔道整復学Ⅰ	1	尾藤 何時夢	範 菜々美	
基礎柔道整復学Ⅱ	1	谷口 佳奈美		
柔道整復学・各論Ⅱ	1	味村 吉浩		
柔道整復学・各論Ⅲ	1	味村 吉浩		
柔道整復学・各論Ⅳ	1	味村 吉浩		
柔道整復学・各論Ⅴ	2	範 菜々美		
柔道整復学・各論Ⅵ	1	範 菜々美		
柔道整復学・各論Ⅶ	1	味村 吉浩		
臨床演習Ⅰ	1	尾藤 何時夢	味村 吉浩	範 菜々美
臨床演習Ⅱ	1	尾藤 何時夢	味村 吉浩	範 菜々美
臨床演習Ⅲ	1	尾藤 何時夢	味村 吉浩	範 菜々美
柔道整復実技Ⅰ	2	尾藤 何時夢		
柔道整復実技Ⅱ	1	栗山 貴行		
柔道整復実技Ⅲ	2	栗山 貴行		
臨床実習Ⅰ	1	尾藤 何時夢	範 菜々美	栗山 貴行
臨床実習Ⅱ	1	尾藤 何時夢	範 菜々美	栗山 貴行
合 計	27			

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
	○			柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語						
授業科目名	科学 I					担当教員名			阪本 尚生					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	物質の素になる原子・分子にはじまり、ホルモン、免疫機能および神経伝導へと視野を広げていく。													
到達目標	物質の素になる原子・分子から、ヒトの構造やしぐみについてその概要を説明することができる。													
成績評価法	授業態度、提出物、期末試験をもとに総合的に評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	物質の素になる原子・分子、アミノ酸													
2	遺伝物質としてのDNA、ヌクレオチド													
3	遺伝物質としてのDNA、タンパク質の復習													
4	セントラルドグマのしくみ													
5	遺伝物質・セントラルドグマの復習、脂質と糖質													
6	いのちの働き、恒常性、内分泌系、ホルモンの働くしくみ													
7	ホルモンの働くしくみ													
8	免疫機能と免疫を司る細胞の種類、自然免疫と適応免疫のしくみ													
9	免疫の復習、神経系のしくみ、中枢神経と末梢神経													
10	神経細胞のつくりと電気信号の伝わり方、イオンと電気の基礎の復習													
11	復習、神経伝導と伝達のしくみ													
12	神経細胞の興奮伝達のしくみ、伝導と伝達の違い													
13	復習													
14	復習													
15	期末試験、解説													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校								
	○					柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語							
授業科目名	科学Ⅱ					担当教員名		阪本 尚生							
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次		2年次			3年次			
単位数	2				授業時間数		前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	科学Ⅱに続いて、感覚器、筋、脳のしくみとはたらきについて概要を学習する。														
到達目標	感覚器、筋、脳のしくみとはたらきについて、その概要を説明することができる。														
成績評価法	授業態度、提出物、期末試験をもとに総合的に評価する。														
実務経験	なし														
回数	授業計画														
1	神経伝達物質の種類、感覚系、感覚の一般的性質														
2	感覚器官（嗅覚、視覚）														
3	感覚器官（視覚）														
4	筋肉のつくりと収縮のしくみ														
5	筋収縮のしくみ														
6	筋収縮のしくみ														
7	地球の歴史														
8	ヒトの脳のしくみとはたらき														
9	ヒトの脳のしくみとはたらき														
10	コミュニケーション能力														
11	ヒトの言語現象（言葉の理解と言語の表出のメカニズム）														
12	失語事例、失語のメカニズム、睡眠とヒトの脳波														
13	睡眠のしくみと夢を見るメカニズム														
14	復習														
15	期末試験、解説														

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
	○			柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	保健体育理論 I					担当教員名			吉田幸平					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	身体的、精神的、社会的に健康を維持増進できるよう適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。													
到達目標	生涯スポーツトレーナーベーシック資格の取得を目指す。													
成績評価法	学習への取り組み姿勢、小テスト、期末試験にて評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	スポーツと社会環境①) ガイダンス, 2) 生涯スポーツトレーナーとは 【動画:水嶋理事長】, 3) 生涯スポーツトレーナー概論 (教本)													
2	スポーツ心理学①) イメージトレーニング①マインドセット													
3	スポーツ心理学②) イメージトレーニング②イメージの力のトレーニング													
4	スポーツ心理学③) イメージトレーニング③未来をイメージする													
5	スポーツ心理学④) ロジック・ブレインとは,ロジック・ブレインの使い方,ロジック・ブレインでわかること,ロジック・ブレインエンジンとは,ロジック・ブレインの分析経緯													
6	スポーツ心理学⑤) ロジック・ブレインのコミュニケーション論 (ベーシック編) 自分の中の4つの自分を知る,優先順位,戦略3分類,ヒューマンリレーション,相関図,12分類マトリックス,ビジネスの取り組み,マネジメント,プレゼンテーション													
7	スポーツ心理学⑥) ロジック・ブレインのコミュニケーション論 (オペレーション編) マーケティング・セールス,マネジメント,ビジネススタイル,ビジネスの役割,能力,リズム													
8	スポーツ医学①) e-learning, 人体の区分と名称 (6分), 身体の方角をあらわす用語 (16分), 代表的な関節運動 (教本), 脊柱 (教本)													
9	スポーツ医学②) 骨の役割(4分),骨の構造(9分),筋の分類(3分),骨格筋について(6分) 2) 骨と関節の仕組みと働き (教本) 3) e-learning,筋収縮のメカニズム①②(8分)(6分), 「スポーツ」「運動」の必要性 (7分) 4) 筋肉のしくみとはたらき (教本)													
10	スポーツトレーナー学①) 1) e-learning, ファンクショナルトレーニングとは (14分), 基礎動作の重要性(11分), 正しい姿勢とプランク(24分)													
11	スポーツトレーナー学②) 1) e-learning, 上肢の動きについて(13分), 下肢の動きについて(15分), 2) 発達障害と不器用さ (教本), 3) 全身を運動させた回旋運動について(16分), 運動指導におけるコーチングについて(31分)													
12	指導方法①) 1) e-learningプログラミングの重要性について(12分), 子ども、高齢者運動指導の基礎知識(22分), 高齢者の運動指導(23分) 2) 高齢者の身体とトレーニング (教本)													
13	指導方法②) 1) e-learning児童期の運動指導(17分) 2) 子どもの身体とトレーニング (教本)													
14	関係法規) e-learning医療行為と医療類似行為(11分), 禁止事項(11分), 2) 用語解説 (教本)													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
	○			柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語						
授業科目名	保健体育理論Ⅱ					担当教員名			吉田幸平					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	身体的、精神的、社会的に健康を維持増進できるよう適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。													
到達目標	生涯スポーツトレーナーアドバンス資格の取得を目指す。													
成績評価法	学習への取り組み姿勢、小テスト、期末試験にて評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	スポーツと社会環境 1) ガイダンス, 2) 人間関係を築くための心理学													
2	スポーツ心理学 1) オープンウィンドウ64作成													
3	栄養学① 1) スポーツ栄養学、三大栄養素と、五大栄養素													
4	栄養学② 1) エネルギー代謝、再合成、糖新生													
5	栄養学③ 1) 時間栄養学													
6	運動実技指導① 1) ティーボール スポーツコンプライアンス概論													
7	運動実技指導② 1) ティーボール ルール規則, 審判方法, 運営方法, 指導法													
8	運動実技指導③ 1) ティーボール 投打の基礎動作													
9	運動実技指導④ 1) ティーボール 試合運営, 試合形式練習													
10	運動指導 1) 子どもと高齢者の運動指導方法の特性と留意点													
11	スポーツコンディショニング 1) ストレッチ理論, ストレッチの種類, 各ストレッチ方法の理解													
12	トレーニング指導 1) トレーニング指導法理論, 各トレーニング方法の理解 2) トレーニング実践													
13	障がいスポーツトレーニング指導① 1) 障がいスポーツ, 障がいスポーツの歴史, 車いすの種類と仕組み													
14	障がいスポーツトレーニング指導② 1) 障がい者のトレーニング適応と実技指導													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
	○			柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	保健体育演習 I					担当教員名			吉田幸平、橋爪務、梓谷隆平					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数		2			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道の基本である礼法・受身を習得をし、柔道初段を目標に投技も実施する。													
到達目標	試合審判規定や投の形を習得し、実践できる。													
成績評価法	期末試験をもとに評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	柔道の授業進行について説明、礼法													
2	礼法、受身（後受身、横受身）													
3	礼法、受身（後受身、横受身、前回受身）													
4	礼法、受身（後受身、横受身、前回受身）													
5	礼法、受身（後受身、横受身、前回受身）													
6	受身、投の形（浮落）													
7	受身、投の形（浮落）													
8	受身、投の形（浮落）、投技（大腰）													
9	受身、投の形（背負投）、投技の基礎（大腰）													
10	受身、投の形（背負投）、投技の基礎（体落）													
11	受身、投の形（背負投）、投技の基礎（体落）													
12	受身、投の形（肩車）、投技の基礎（背負投）													
13	受身、投の形（肩車）、投技の基礎（背負投）													
14	復習													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
	○			柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	保健体育演習Ⅱ					担当教員名			吉田幸平、橋爪務、梓谷隆平					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数		2			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道の基本である礼法・受身を習得をし、柔道初段を目標に投技も実施する。													
到達目標	試合審判規定や投の形を習得し、実践できる。													
成績評価法	期末試験をもとに評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	礼法、受身													
2	投の形（手技）の復習、投技（大腰、体落、背負投）の復習													
3	投の形（手技）の復習、約束乱取													
4	投の形（手技）の復習、約束乱取													
5	投の形（浮腰）、約束乱取													
6	投の形（浮腰）、約束乱取													
7	投の形（浮腰）、約束乱取													
8	投の形（払腰）、約束乱取													
9	投の形（払腰）、約束乱取													
10	投の形（払腰）、約束乱取													
11	投の形（釣込腰）、約束乱取													
12	投の形（釣込腰）、約束乱取													
13	投の形（釣込腰）、約束乱取													
14	投の形（手技、腰技）の復習、約束乱取													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
	○			柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	外国語			担当教員名	横山 さゆり									
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	<p>中学高校既習の学習英文法の復習を必要に応じて取り入れ、語彙の蓄積、文法力の定着、読解力の要請を目的とした講義を行う。</p>													
到達目標	<p>身近な話題や日常生活に関連した平易な英語で書かれたメッセージ、SNSの当校、旅程表などを読み、概要や要点を捉えたり、情報の事実と意見に整理することができるなど、総合的な英語力の育成を目指す。</p>													
成績評価法	<p>学習への取り組み姿勢、クラスメートとの協働、提出物、小テスト、期末試験にて評価する。</p>													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	授業について、辞書の使い方、英語の5文型													
2	短い英文読解 Have a Good Day with a Good Breakfast 文法復習													
3	終末の約束について書かれたメッセージのやり取りと電子書籍について書かれたSNS													
4	セールについて書かれた広告、スピーチコンテストについて書かれた告知記事													
5	ハワイについて書かれた説明文、高校の一般公開日について書かれた掲示													
6	駐車場の空き状況について書かれたウェブサイト													
7	クリケットについて書かれた説明文、マラリアの予防について書かれた新聞記事													
8	ホテルについてのレビューサイト													
9	バスツアーについてのウェブサイト													
10	水族館のイベントについての広告													
11	ドバイ4日間の旅程表													
12	注文後の対応について書かれたメール													
13	映画館上映スケジュールについて書かれたウェブサイト													
14	ジェンダーについて書かれた説明文													
15	期末試験、解説													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
			○				柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語			
授業科目名	解剖学 I					担当教員名			範菜々美					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	3				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	教科書として解剖学（改訂第2版）を使用し講義を行う。各項目ごとに小テストを実施し、学習の定													
到達目標	柔道整復師にとって必要な運動器の知識を身につける。													
成績評価法	中間テスト、期末テスト、授業態度を総合的に評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	骨の役割、骨の形状による分類、骨の構造													
2	骨の構造、骨の発生													
3	骨表面の形状、骨の連結													
4	骨の連結、体幹の構造・機能													
5	体幹の構造・機能													
6	体幹の構造・機能													
7	肩甲骨・鎖骨の構造・機能													
8	肩甲骨・鎖骨・上腕骨の構造・機能													
9	上腕骨・橈骨・尺骨の構造・機能													
10	橈骨・尺骨・手の骨の構造・機能													
11	肩関節													
12	肘関節													
13	手関節、手指の関節													
14	復習													
15	中間試験、解説													
16	寛骨・骨盤の構造・機能													
17	骨盤・大腿骨の構造・機能													
18	大腿骨・脛骨・腓骨の構造・機能													
19	脛骨・腓骨・足の骨の構造・機能													
20	足の骨の構造機能													
21	股関節													
22	膝関節													
23	足関節													
24	足趾の関節													
25	頭蓋骨の構造・機能													
26	頭蓋骨の構造・機能													
27	顎関節													
28	復習													
29	中間試験													
30	中間試験の解説													
31	骨格筋総論													
32	骨格筋総論													
33	頭部・体幹の筋													
34	頭部・体幹の筋													
35	頭部・体幹の筋													
36	上肢の筋													
37	上肢の筋													
38	上肢の筋													
39	上肢の筋													
40	下肢の筋													
41	下肢の筋													
42	下肢の筋													
43	下肢の筋													
44	復習													
45	復習、期末試験													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校								
			○				柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語				
授業科目名	解剖学Ⅱ					担当教員名			宮崎刀一						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次		1年次		2年次			3年次			
単位数	2				授業時間数		前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	人体の構造を立体的、空間的に理解できるよう図を用いながら学習する。														
到達目標	柔道整復師としての臨床や国家試験に必要なかつ十分な知識を豊富な問題演習を通して身につける。														
成績評価法	定期試験、小テスト、授業態度を総合的に判断する。														
実務経験	なし														
回数	授業計画														
1	人体解剖学概説(1)														
2	人体解剖学概説(2)														
3	人体解剖学概説(3)														
4	人体解剖学概説(4)														
5	脈管系(1)														
6	脈管系(2)														
7	脈管系(3)														
8	脈管系(4)														
9	脈管系(5)														
10	脈管系(6)														
11	脈管系(7)														
12	脈管系(8)														
13	脈管系(9)														
14	脈管系(10)														
15	中間試験														
16	内臓系(1)														
17	内臓系(2)														
18	内臓系(3)														
19	内臓系(4)														
20	内臓系(5)														
21	内臓系(6)														
22	内臓系(7)														
23	内臓系(8)														
24	内臓系(9)														
25	内臓系(10)														
26	内臓系(11)														
27	内臓系(12)														
28	内臓系(13)														
29	内臓系(14)														
30	期末試験、解説														

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
			○				柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語			
授業科目名	解剖学Ⅲ					担当教員名		宮崎刀一						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次			3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	人体の構造を立体的、空間的に理解できるよう図を用いながら学習する。													
到達目標	柔道整復師としての臨床や国家試験に必要なかつ十分な知識を豊富な問題演習を通して身につける。													
成績評価法	定期試験、小テスト、授業態度を総合的に判断する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	内分泌系(1)													
2	内分泌系(2)													
3	内分泌系(3)													
4	内分泌系(4)													
5	内分泌系(5)													
6	内分泌系(6)													
7	内分泌系(7)													
8	内分泌系(8)													
9	神経系(1)													
10	神経系(2)													
11	神経系(3)													
12	神経系(4)													
13	神経系(5)													
14	神経系(6)													
15	中間試験、解説													
16	神経系(7)													
17	神経系(8)													
18	神経系(9)													
19	神経系(10)													
20	神経系(11)													
21	神経系(12)													
22	神経系(13)													
23	神経系(14)													
24	感覚系(1)													
25	感覚系(2)													
26	感覚系(3)													
27	感覚系(4)													
28	体表解剖、映像解剖(1)													
29	体表解剖、映像解剖(2)													
30	期末試験、解説													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
			○				柔道整復師	スポーツトレーナー		日本語				
授業科目名	生理学 I					担当教員名	岡田健志							
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次			3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	教科書として生理学第4版を用いて、ヒトの正常な生理機能について学習する。													
到達目標	柔道整復師に必要な人体の生理機能に関する基礎医学的知識を習得する。													
成績評価法	期末試験をもとに評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	生理学の基礎 (1)													
2	生理学の基礎 (2)													
3	筋の生理学 (1)													
4	筋の生理学 (2)													
5	筋の生理学 (3)													
6	神経の生理学 (1)													
7	神経の生理学 (2)													
8	神経の生理学 (3)													
9	神経の生理学 (4)													
10	神経の生理学 (5)													
11	運動の生理学 (1)													
12	運動の生理学 (2)													
13	運動の生理学 (3)													
14	運動の生理学 (4)													
15	中間試験、解説													
16	感覚の生理学 (1)													
17	感覚の生理学 (2)													
18	感覚の生理学 (3)													
19	感覚の生理学 (4)													
20	感覚の生理学 (5)													
21	感覚の生理学 (6)													
22	内分泌の生理学 (1)													
23	内分泌の生理学 (2)													
24	内分泌の生理学 (3)													
25	内分泌の生理学 (4)													
26	内分泌の生理学 (5)													
27	生殖の生理学 (1)													
28	生殖の生理学 (2)													
29	生殖の生理学 (3)													
30	期末試験、解説													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
			○				柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語			
授業科目名	生理学Ⅱ					担当教員名	岡田健志							
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次			3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	教科書として生理学第4版を用いて、ヒトの正常な生理機能について学習する。													
到達目標	柔道整復師に必要な人体の生理機能に関する基礎医学的知識を習得する。													
成績評価法	期末試験をもとに評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	血液の生理学 (1)													
2	血液の生理学 (2)													
3	血液の生理学 (3)													
4	血液の生理学 (4)													
5	血液の生理学 (5)													
6	骨の生理学 (1)													
7	骨の生理学 (2)													
8	循環の生理学 (1)													
9	循環の生理学 (2)													
10	循環の生理学 (3)													
11	循環の生理学 (4)													
12	呼吸の生理学 (1)													
13	呼吸の生理学 (2)													
14	呼吸の生理学 (3)													
15	中間試験、解説													
16	泌尿器の生理学 (1)													
17	泌尿器の生理学 (2)													
18	泌尿器の生理学 (3)													
19	栄養と代謝 (1)													
20	栄養と代謝 (2)													
21	栄養と代謝 (3)													
22	消化と吸収 (1)													
23	消化と吸収 (2)													
24	消化と吸収 (3)													
25	消化と吸収 (4)													
26	消化と吸収 (5)													
27	体温とその調節 (1)													
28	体温とその調節 (2)													
29	体温とその調節 (3)													
30	期末試験、解説													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	運動学					担当教員名	範菜々美							
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	運動学（改訂3版）、解剖学（改訂2版）を用いて運動器について学習する。													
到達目標	運動器について説明ができ、国家試験に向けて十分な知識を身につける。													
成績評価法	中間試験、期末試験をもとに評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	脊柱の運動学、問題演習													
2	顎関節・胸部の運動学、問題演習													
3	腰部・骨盤の運動学、問題演習													
4	肩関節の運動学、問題演習													
5	肘関節の運動学、問題演習													
6	手関節の運動学、問題演習													
7	復習													
8	中間試験、解説													
9	股関節の運動学、問題演習													
10	股関節の運動学、問題演習													
11	膝関節の運動学、問題演習													
12	膝関節・足関節の運動学、問題演習													
13	足関節の運動学、問題演習													
14	復習													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語						
授業科目名	運動学					担当教員名			宮崎刀一					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	運動学テキストを用いながら運動学の解説、演習を行い国家試験に対応できる知識を習得させる。													
到達目標	日常の運動動作についての仕組みを理解し、柔道整復師としての臨床につながる運動学の基礎知識と技術を修得することを目標とする。													
成績評価法	定期テスト、小テスト、授業態度を総合的に判定する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
16	運動学入門、動作の観察・分析・解析													
17	バイオメカニクス（1）													
18	バイオメカニクス（2）													
19	バイオメカニクス（3）													
20	人体の構造と機能（1）													
21	人体の構造と機能（2）													
22	人体の構造と機能（3）													
23	中間テスト、解説													
24	神経支配比													
25	筋紡錘、腱紡錘													
26	運動発達（1）													
27	運動発達（2）													
28	運動学習（1）													
29	運動学習（2）動機付け													
30	期末テスト、解説													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
			○				柔道整復師	スポーツトレーナー		日本語				
授業科目名	運動生理学					担当教員名		宮崎刀一						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次		3年次				
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	運動生理学では身体運動によるからだの生理学的な諸機能がどのように変化するのかを学ぶ。また運動器の生理学的機能について国家試験問題、オリジナル問題の演習、解説を行う。													
到達目標	運動器の生理学的機能を理解し、国家試験問題を解くのに必要かつ十分な知識を身につける。													
成績評価法	定期試験、小テスト、授業態度を総合的に評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	骨の生理学（1）													
2	骨の生理学（2）													
3	骨の生理学（3）													
4	骨の生理学（4）													
5	神経生理学（1）													
6	神経生理学（2）													
7	神経生理学（3）													
8	神経生理学（4）													
9	神経生理学（5）													
10	神経生理学（6）													
11	神経生理学（7）													
12	神経生理学（8）													
13	筋紡錘、腱紡錘（1）													
14	筋紡錘、腱紡錘（2）													
15	中間試験、解説													
16	感覚器（1）													
17	感覚器（2）													
18	感覚器（3）													
19	感覚器（4）													
20	反射（1）													
21	反射（2）													
22	反射（3）													
23	反射（4）													
24	反射（5）													
25	反射（6）													
26	反射（7）													
27	反射（8）													
28	総まとめ													
29	総まとめ													
30	期末試験、解説													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	病理学概論				担当教員名			野村慎太郎						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	疾病のトリガーとなる細胞や組織の基本的反応について、学習する。													
到達目標	病理学の学問的枠組み、疾病一般の概説、退行性病変、進行性病変、循環障害、炎症について理解する。													
成績評価法	中間試験、期末試験、出席状況等をもとに評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	疾病の一般、細胞傷害													
2	細胞傷害													
3	循環障害													
4	循環障害													
5	進行性病変													
6	移植													
7	炎症													
8	中間試験													
9	免疫異常													
10	免疫異常、アレルギー													
11	腫瘍													
12	腫瘍（良性腫瘍と悪性腫瘍）													
13	先天性異常													
14	病因													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	リハビリテーション医学				担当教員名									
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要														
到達目標														
成績評価法														
実務経験														
回数	授業計画													
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校											
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語							
授業科目名	一般臨床医学 I					担当教員名									
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中	
授業概要	診察の基本と内科疾患を中心とした疾患の概念を理解し、柔道整復師が臨床現場で注意を払う必要があるものの症状および所見の理解を深める。														
到達目標	基礎医学知識をもとに臨床医学の基礎的知識の習得を目標とする。														
成績評価法	中間試験、期末試験、出席状況等をもとに評価する。														
実務経験															
回数	授業計画														
1	診察の意義、診察の進め方														
2	医療面接														
3	視診														
4	打診														
5	聴診														
6	触診														
7	生命徴候														
8	中間試験														
9	感覚検査														
10	反射検査														
11	代表的な臨床症状														
12	代表的な臨床症状														
13	代表的な臨床症状														
14	検査法														
15	期末試験														

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語						
授業科目名	一般臨床医学Ⅱ					担当教員名								
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	診察の基本と内科疾患を中心とした疾患の概念を理解し、柔道整復師が臨床現場で注意を払う必要があるものの症状および所見の理解を深める。													
到達目標	基礎医学知識を踏まえ、個々の疾患を理解する。													
成績評価法	中間試験、期末試験、出席状況等をもとに評価する。													
実務経験														
回数	授業計画													
1	呼吸器疾患													
2	呼吸器疾患													
3	循環器疾患													
4	循環器疾患													
5	消化器疾患													
6	消化器疾患													
7	中間試験													
8	代謝疾患													
9	内分泌疾患													
10	血液疾患													
11	泌尿器疾患													
12	神経疾患													
13	感染症													
14	膠原病													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	外科学概論					担当教員名			尾野光市					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	外科学概論を用いて、講義を実施する。													
到達目標	臨床で出会う疾病や処置について学習する。													
成績評価法	中間試験、期末試験をもとに評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	損傷・熱傷													
2	外科的感染症													
3	腫瘍・ショック													
4	輸液・輸血													
5	消毒・手術													
6	麻酔・移植・免疫													
7	出血・止血													
8	中間試験													
9	心肺蘇生													
10	脳													
11	呼吸器、頸部													
12	心脈管													
13	乳腺、消化器													
14	エコー、肝													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語						
授業科目名	整形外科学 I					担当教員名			尾藤何時夢					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	臨床の現場で遭遇する個々の疾患に対して、柔道整復学で習得した知識を応用して対応する能力を身につける。主に、柔道整復師が遭遇しやすい整形外科学的疾患について学習する。													
到達目標	整形外科学的疾患について説明ができる。													
成績評価法	期末試験をもとに評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	運動器の基礎知識、診察法、検査法													
2	検査法													
3	整形外科学的治療法													
4	骨・関節損傷総論													
5	スポーツ整形外科													
6	感染症疾患													
7	骨腫瘍													
8	中間試験、解説													
9	骨・関節疾患（非感染症）													
10	全身性の骨・関節疾患													
11	骨端症													
12	四肢循環障害													
13	神経・筋疾患													
14	復習													
15	期末試験、解説													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語						
授業科目名	整形外科学Ⅱ					担当教員名								
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要														
到達目標														
成績評価法														
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	関係法規					担当教員名			味村吉浩					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復師として業務に従事する上で必要となる法令について学習する。法の成り立ちにはじまり、柔道整復師法や、医療や社会保険制度に関係した各種法令について知見を深める。													
到達目標	柔道整復師として業務に従事する上で知っておくべき法令を理解する。													
成績評価法	期末試験、確認テスト、課題の取り組み状況や受講態度など、総合的に評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	法の体系													
2	柔道整復師の業とは													
3	柔道整復師免許について													
4	柔道整復師免許にかかる各種手続き													
5	柔道整復師国家試験について													
6	柔道整復師の業務範囲について													
7	施術所について													
8	これまでの復習、理解度確認テスト													
9	広告について													
10	柔道整復師法に定められる罰則について													
11	指定登録機関と指定試験機関について													
12	医療従事者の資格法について													
13	医療法について													
14	社会福祉関連法規、その他の関係法規について													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	職業倫理と社会保障				担当教員名	尾藤何時夢								
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要														
到達目標														
成績評価法														
実務経験														
回数	授業計画													
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	衛生学・公衆衛生学					担当教員名			野尻孝子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	地域の医療・保健を担う柔道整復師として必要な健康の概念、感染対策、環境対策および食品衛生にかかる知識について概説するほか、衛生行政機構や医療保険の制度について学ぶ。													
到達目標	医療従事者として必要な衛生・公衆衛生の知識を身につける。													
成績評価法	期末試験を行い、評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	衛生学とは、WHO憲章													
2	疾患、習慣病、予防の分類													
3	疾病予防、健康管理													
4	感染症													
5	消毒													
6	環境衛生													
7	食中毒、公害													
8	中間試験													
9	母子保健、学校保健													
10	産業保健、成人保健													
11	老人保健、高齢者保健													
12	精神保健、地域保健													
13	国際保健、衛生行政と保険医療制度													
14	医療の倫理、安全の確保、疫学													
15	まとめ、期末試験													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校								
			○				柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語				
授業科目名	保健体育実技 I					担当教員名			吉田幸平、梓谷隆平、範菜々美						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次			
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中	
授業概要	受身、礼法を習得し、認定実技審査の形項目を体得する。また、柔道初段を目標にし、投技・寝技を実施する。														
到達目標	試合審判規定や投の形を習得し、実践できる。														
成績評価法	期末試験をもとに評価する。														
実務経験	なし														
回数	授業計画														
1	礼法、受身														
2	投の形（手技）の復習、大腰														
3	投の形（手技）の復習、背負投														
4	投の形（手技）の復習、背負投														
5	投の形（浮腰、払腰）の復習、約束乱取														
6	投の形（浮腰、払腰）の復習、約束乱取														
7	投の形（浮腰、払腰）の復習、約束乱取														
8	投の形（釣込腰）、約束乱取														
9	投の形（釣込腰）、約束乱取														
10	投の形（腰技）のまとめ、約束乱取														
11	投の形（手技、腰技）の復習、約束乱取														
12	投の形（手技、腰技）の復習、約束乱取														
13	投の形（手技、腰技）の復習、約束乱取														
14	投の形（手技、腰技）の復習、約束乱取														
15	期末試験														

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
		○		柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語						
授業科目名	保健体育実技Ⅱ					担当教員名			吉田幸平、梓谷龍平、範菜々美					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	受身、礼法を習得し、認定実技審査の形項目を体得する。また、柔道初段を目標にし、投技・寝技を実施する。													
到達目標	試合審判規定や投の形を習得し、実践できる。													
成績評価法	期末試験をもとに評価する。													
実務経験	なし													
回数	授業計画													
1	礼法、受身													
2	投の形（手技、腰技）の復習、約束乱取													
3	投の形（送足払）、約束乱取													
4	投の形（送足払）、約束乱取													
5	投の形（支釣込足）、約束乱取													
6	投の形（支釣込足）、約束乱取													
7	投の形（内股）、約束乱取													
8	投の形（内股）、約束乱取													
9	投の形（足技）の復習、約束乱取													
10	投の形（足技）の復習、約束乱取													
11	投の形（手技、腰技、足技）の復習、約束乱取													
12	投の形（手技、腰技、足技）の復習、約束乱取													
13	投の形（手技、腰技、足技）の復習、約束乱取													
14	投の形（手技、腰技、足技）の復習、約束乱取													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	柔道整復学・総論 I					担当教員名			味村 吉浩					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復学の基礎となる総論、その中でも骨折に関するものを学習する。													
到達目標	骨損傷（骨折）のいろんな種類（タイプ）を知るとともに、骨損傷はどのようにして起こるか、また、どのような折れ方をするかなど、骨損傷の基礎知識を身につける。													
成績評価法	期末試験、確認テスト、課題の取り組み状況や受講態度など、総合的に評価する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	人体に加わる力、痛みの基礎													
2	骨の形態と機能 骨の構造、骨損傷の概説、骨損傷の分類													
3	骨折の症状													
4	骨折の症状													
5	骨折の合併症													
6	骨折の合併症													
7	復習、理解度確認試験													
8	小児骨折、高齢者骨折													
9	小児骨折、高齢者骨折													
10	骨折の癒合日数、骨折の治癒過程													
11	骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子													
12	治療法（骨折の整復法）と固定法													
13	治療法（骨折の整復法）と固定法													
14	復習、理解度確認試験													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
					○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語						
授業科目名	柔道整復学・総論II					担当教員名		栗山 貴行						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次			3年次			
単位数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	専門分野である柔道整復学の成り立ち、人体の構造と機能を学習する。													
到達目標	柔道整復学総論基礎分野および関係する人体の構造と機能を習得する。													
成績評価法	定期試験と受講態度を総合的に評価する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	オリエンテーション、授業進行について、人体解剖学専門用語について													
2	関節の損傷（捻挫・脱臼）、関節の構造について													
3	関節の構造について													
4	関節損傷の分類について													
5	鑑別診断を要する類症について													
6	脱臼とはなにかを学習について													
7	脱臼の分類について													
8	中間確認試験、振り返り授業													
9	脱臼の分類について													
10	脱臼の症状について													
11	脱臼の症状と合併症について													
12	脱臼の整復障害について 脱臼の経過と予後について													
13	脱臼の整復障害について 脱臼の経過と予後について													
14	前期のまとめと復習													
15	前期のまとめと期末試験													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
					○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語						
授業科目名	柔道整復学・総論Ⅲ					担当教員名		谷口 佳奈美						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次			3年次			
単位数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復師が遭遇する軟部組織損傷の総論について学習する。													
到達目標	軟部組織損傷の総論について説明ができる。													
成績評価法	定期試験と受講態度を総合的に評価する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	オリエンテーション、授業進行について、関節損傷について													
2	関節の損傷（捻挫・脱臼）、関節の構造について													
3	関節損傷の分類について													
4	靭帯の治癒機序について													
5	人体の損傷とその予後経過について													
6	軟骨損傷の分類、合併症、治癒機序について													
7	筋の損傷について													
8	中間試験、解説													
9	筋の構造について													
10	筋損傷について（概説、分類、症状、治癒機序、予後）													
11	腱損傷について（概説、分類、症状、治癒機序、予後）													
12	末梢神経損傷について（概説、分類、症状、治癒機序、予後）													
13	末梢神経損傷について（概説、分類、症状、治癒機序、予後）													
14	前期のまとめと復習													
15	前期のまとめと復習													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
					○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語						
授業科目名	柔道整復学・各論Ⅰ					担当教員名		尾藤 何時夢						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次		3年次				
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復学理論について総論骨折部門の復習と各論上肢骨折について													
到達目標	自由上肢骨折の概要、分類、発生機序、症状、治療法、合併症について理解する													
成績評価法	中間試験45%、期末試験45%、授業への取組10%													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	骨組織について（骨折総論全般を復習）													
2	骨折総論全般を復習													
3	鎖骨骨折の機能解剖学、概要、分類													
4	鎖骨骨折の発生機序、症状、治療法、合併症													
5	肩甲骨骨折の機能解剖学、概要、分類、症状、治療法、合併症													
6	上腕骨骨頭および解剖頸骨折、分類、概要、発生機序、症状等													
7	上腕骨外科頸骨折 分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について①													
8	外科頸骨折 分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について②													
9	上腕骨骨幹部骨折の分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について													
10	上腕骨遠位端部骨折の分類 顆上骨折の分類、概要について													
11	顆上骨折の発生機序、症状、治療法、合併症について①													
12	顆上骨折の発生機序、症状、治療法、合併症について②													
13	外顆の分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について①													
14	内側上顆の分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について													
15	中間試験													
16	前腕骨近位端部骨折① 橈骨骨幹部骨折の概説～治療法まで													
17	前腕骨近位端部骨折② 尺骨骨幹部骨折の概説～治療法まで													
18	前腕骨骨幹部骨折 橈・尺骨骨幹部骨折の概説～治療法まで													
19	前腕骨遠位端部骨折① コーレス骨折の概説～治療法まで													
20	前腕骨遠位端部骨折② コーレス骨折・スミス骨折の概説～治療法まで													
21	前腕骨遠位端部骨折③ 実技も踏まえて治療法													
22	前腕骨遠位端部骨折④ バートン、ショウファー骨折													
23	手根骨骨折① 舟状骨の分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について													
24	手根骨骨折② その他の手根骨骨折の分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について													
25	中手骨骨折① 第1中手骨骨折の分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について													
26	中手骨骨折② 第5中手骨骨折の分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について													
27	指骨骨折① 基節骨 分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について													
28	指骨骨折② 中節骨 分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について													
29	指骨骨折③ 末節骨 分類、概要、発生機序、症状、治療法、合併症について													
30	期末試験													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
					○		柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語					
授業科目名	柔道整復学・総論IV					担当教員名		尾藤何時夢、範菜々美						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次		3年次				
単位数		2			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復学・実技編（改訂第2版）及びテキスト、作成資料を使用し、実技および実技に関する理論を行う。													
到達目標	柔道整復実技の基礎を習得する。													
成績評価法	期末試験80%、平常点（出席含む）10%													
実務経験	尾藤何時夢（あり／柔道整復施術所において柔道整復師として勤務） 範菜々美（あり／柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	柔道整復手技療法（以後、柔整手技）について													
2	柔整手技の理論と種類													
3	柔整手技の方法①軽擦法													
4	柔整手技の方法 ②強擦法													
5	柔整手技の方法 ③揉捏法													
6	柔整手技の方法 ④叩打法													
7	柔整手技の方法 ⑤振戦法、圧迫法													
8	アルフェンス作成（指）													
9	アルフェンスの活用（指）													
10	プライトン作成（手関節）													
11	プライトンの活用（手関節）													
12	キャストライト作成（下腿部）													
13	キャストライト作成（下腿部）													
14	キャストライト活用（下腿部）													
15	柔整手技のまとめ、実技試験													
16	テーピングの種類、効果													
17	足関節の機能解剖学、足関節捻挫													
18	足関節捻挫の基本のテーピング													
19	足関節捻挫の基本のテーピング													
20	足関節捻挫の基本のテーピング													
21	足関節捻挫の基本のテーピング													
22	復習、中間試験													
23	膝関節の機能解剖学、膝関節内側側副靭帯損傷													
24	膝関節内側側副靭帯損傷のテーピング													
25	膝関節内側側副靭帯損傷のテーピング													
26	膝関節前十字靭帯損傷													
27	膝関節前十字靭帯損傷のテーピング													
28	膝関節前十字靭帯損傷のテーピング													
29	膝関節前十字靭帯損傷のテーピング													
30	復習、期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	柔道整復学・総論V					担当教員名			範 菜々美					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数		1			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復学・理論編（改訂第7版：南江堂）、柔道整復学・実技編（改訂第2版）、解剖学（改訂第2版）を使用し行う。各項目ごとに小テストを実施し、学習の定着を確認する。													
到達目標	前期で学習した骨折総論の知識をもとに、上肢帯～上腕骨近位部骨折について説明ができる。													
成績評価法	中間試験、期末試験をもとに評価する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	骨折総論の復習													
2	上肢帯の機能解剖学													
3	鎖骨骨折（概説、合併症、鑑別診断）													
4	鎖骨骨折（整復法、固定法、後療法）													
5	肩甲骨骨折													
6	上腕骨解剖頸骨折													
7	復習													
8	中間試験、解説													
9	上肢の機能解剖学													
10	上腕骨外科頸骨折（概説、合併症、鑑別診断）													
11	上腕骨外科頸骨折（整復法、固定法、後療法）													
12	上腕骨外科頸骨折のまとめ													
13	上腕骨大結節骨折、上腕骨小結節骨折、上腕骨近位骨端線離開													
14	復習													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
					○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語						
授業科目名	基礎柔道整復学 I					担当教員名		尾藤 何時夢、範 菜々美						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次			3年次			
単位数		1			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	施術所等で起こりうる疾病についての救急医学を学習する。													
到達目標	日赤救急法救急員の資格取得を目標に救急医学を学習する。													
成績評価法	期末試験、受講態度を総合的に評価する。													
実務経験	尾藤何時夢（あり／柔道整復施術所において柔道整復師として勤務） 範菜々美（あり／柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	包帯法、検脈													
2	包帯法、止血													
3	骨折固定法													
4	骨折固定法													
5	搬送法													
6	搬送法													
7	心肺蘇生法													
8	心肺蘇生法													
9	AEDの使用方法													
10	救急処置の基本事項													
11	事故発生時のフローチャート													
12	RICE処置													
13	ショック時の対応													
14	復習													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	基礎柔道整復学Ⅱ					担当教員名			谷口 佳奈美					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数		1			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	現場で必要となる各年代の特徴や代表的な疾患について学習し、運動指導などの実技を行う。													
到達目標	各年代に合わせた運動指導ができるようになる。													
成績評価法	期末試験と受講態度を総合的に評価する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	発達と老化の理解													
2	発達と老化の理解													
3	認知症について													
4	介護保険制度													
5	高齢者介護とICF													
6	福祉用具や車椅子													
7	機能訓練（準備運動）													
8	機能訓練（上肢・体幹のストレッチング）													
9	機能訓練（下肢のストレッチング）													
10	機能訓練（体幹筋力増強訓練）													
11	機能訓練（上肢筋力増強訓練）													
12	機能訓練（下肢筋力増強訓練）													
13	機能訓練（簡単な器具を用いて行う運動）													
14	前期の復習													
15	前期の復習、期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語						
授業科目名	柔道整復学・各論II					担当教員名			味村 吉浩					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	前腕から指先にいたるまでの骨折について、どのようにしてその骨折が起こるのか、どのような症状になるか、また、どのようにして整復して治療を進めていくかを学習する。													
到達目標	各傷病の特徴を理解して、臨床で遭遇する傷病に対応できる知識を身につける。													
成績評価法	受講態度、小テスト、中間試験、期末試験および課題の提出状況等をもって総合的に評価する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	前腕骨近位端部骨折													
2	肘頭骨折													
3	橈骨骨幹部骨折													
4	ガレアジ骨折・尺骨骨幹部骨折													
5	モンテギア骨折													
6	橈・尺両骨骨幹部骨折													
7	橈骨遠位端部骨折													
8	中間試験、橈骨遠位端部骨折													
9	舟状骨骨折													
10	三角骨骨折・有鈎骨骨折・豆状骨骨折													
11	中手骨骨頭部骨折・中手骨頸部骨折													
12	中手骨骨幹部骨折・中手骨基部骨折													
13	指骨骨折													
14	指骨骨折													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語						
授業科目名	柔道整復学・各論Ⅲ					担当教員名			味村 吉浩					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	外傷（けが）として起こる脱臼のうち、股関節から足指関節までの下肢に生じるものについて学習する。													
到達目標	下肢に起こる脱臼はどのような原因で、まだどのようにして起こるかに始まり、見極め方や治療方法を理解する。													
成績評価法	期末試験、確認テスト、課題の取り組み状況や受講態度など、総合的に評価する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	脱臼の基礎													
2	股関節脱臼の概要													
3	発生頻度が高い股関節脱臼の発生原因や症状													
4	発生頻度が高い股関節脱臼の治療法													
5	その他の股関節脱臼													
6	膝蓋骨脱臼の概要													
7	膝蓋骨脱臼の症状や治療法													
8	これまでの復習、理解度確認テスト													
9	膝関節脱臼の概要													
10	膝関節脱臼の発生原因や症状													
11	足部の脱臼の概要													
12	足部の脱臼の症状や治療法													
13	足指関節脱臼の概要													
14	足指関節脱臼の症状や治療法													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	柔道整復学・各論IV					担当教員名			味村 吉浩					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復施術に携わる上で必要となる各種画像の観察手法について学ぶ。													
到達目標	単純X線像、超音波画像、CT画像およびMRI画像について、観察の手順や見方をマスターする。													
成績評価法	受講態度、小テスト、中間試験、期末試験および課題提出状況等をもって総合的に判断する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	画像の成り立ちと特徴													
2	肩部の画像診断①													
3	肩部の画像診断②													
4	肘部の画像診断①													
5	肘部の画像診断②													
6	手部の画像診断①													
7	手部の画像診断②													
8	中間試験、指の画像診断													
9	体幹部の画像診断													
10	股部の画像診断													
11	膝部の画像診断①													
12	膝部の画像診断②													
13	足部の画像診断													
14	その他の画像診断													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
					○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語						
授業科目名	柔道整復学・各論V					担当教員名		範 菜々美						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次		3年次				
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復学・理論編（改訂第7版：南江堂）、柔道整復学・実技編（改訂第2版）、解剖学（改訂第2版）を使用し行う。各項目ごとに小テストを実施し、学習の定着を確認する。													
到達目標	体幹～上肢の軟部組織損傷について理解し、説明ができる。													
成績評価法	中間試験、期末試験をもとに評価する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	頭部の機能解剖学、頭部・顔面部打撲													
2	顎関節症、外傷性顎関節損傷（顎関節捻挫）													
3	頸部の機能解剖学、外傷性頸部症候群（むちうち損傷）													
4	外傷性頸部症候群（むちうち損傷）													
5	胸郭出口症候群													
6	胸郭出口症候群、寝違え													
7	中間試験、解説													
8	胸腰部の機能解剖学、胸肋関節損傷、肋間筋損傷													
9	胸背部打撲傷、背部の軟部組織損傷													
10	腰部の軟部組織損傷													
11	腰部の軟部組織損傷													
12	肩関節の機能解剖学、腱板断裂													
13	腱板断裂、肩峰下インピンジメント症候群													
14	上腕二頭筋長頭筋腱損傷													
15	講義のまとめ、期末試験													
16	投球障害肩（ベネット損傷、SLAP損傷、リトルリーガー肩）													
17	動揺性肩関節、五十肩（凍結肩）													
18	肘関節の機能解剖学、肘関節側副靭帯損傷													
19	野球肘、テニス肘													
20	パンナー病、変形性肘関節症													
21	前腕の機能解剖学、前腕コンパートメント症候群													
22	中間試験、解説													
23	腱交叉症候群、末梢神経障害（正中神経）													
24	末梢神経障害（橈骨神経、尺骨神経）													
25	手関節の機能解剖学、三角線維軟骨複合体損傷（TFCC損傷）、ド・ケルバン病													
26	手根管症候群、ギヨン管症候群、キーンベック病、マーデルング変形													
27	手部・手指の機能解剖学、指側副靭帯損傷、ロッキングフィンガー													
28	ばね指、手指の変形													
29	復習													
30	講義のまとめ、期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	柔道整復学・各論VI					担当教員名			範 菜々美					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復学・理論編（改訂第7版：南江堂）、柔道整復学・実技編（改訂第2版）、解剖学（改訂第2版）を使用し行う。													
到達目標	1年次で学習した内容について、更に理解を深め学習の定着を目指す。													
成績評価法	中間試験、期末試験をもとに評価する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	骨折総論の問題演習													
2	脱臼総論の問題演習													
3	軟部組織損傷、神経損傷総論の問題演習													
4	肩関節の機能解剖学、肩関節脱臼の問題演習													
5	肘関節の機能解剖学、肘関節脱臼の問題演習													
6	手関節・手指の機能解剖学、手関節・手指脱臼の問題演習													
7	復習													
8	中間試験、解説													
9	下肢の機能解剖学、大腿骨近位部骨折の問題演習													
10	下肢の機能解剖学、大腿骨骨幹部骨折の問題演習													
11	下肢の機能解剖学、大腿骨遠位部骨折の問題演習													
12	下肢の機能解剖学、下腿骨骨折の問題演習													
13	下肢の機能解剖学、足部骨折の問題演習													
14	復習													
15	期末試験、解説													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	柔道整復学・各論Ⅶ					担当教員名			味村 吉浩					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	臨床現場で遭遇する機会が多い外傷を中心に、理論と実際の両面について知識を深める。													
到達目標	臨床現場で遭遇する機会が多い外傷の観察にはじまり、損傷部位や程度の見分け方など現場において必要となる必要最小限度の考え方を身につける。													
成績評価法	受講態度、小テスト、中間試験、期末試験および課題提出状況等をもって総合的に判断する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	鎖骨骨折													
2	上腕骨近位端部骨折													
3	肩関節脱臼													
4	肩鎖関節脱臼													
5	肘関節脱臼													
6	橈骨遠位端部骨折													
7	手根骨骨折													
8	中間試験、手指骨骨折													
9	頸部および肩部の軟部組織損傷													
10	肘部および手部の軟部組織損傷													
11	腰部および股部の軟部組織損傷													
12	膝部および足部の軟部組織損傷													
13	足関節部の骨折													
14	総復習													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	臨床演習 I					担当教員名			尾藤何時夢、味村吉浩、範菜々美					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数		1			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	興味のある分野・内容の先行研究を調べ、計測およびデータの収集、発表資料の作成を行う。													
到達目標	学会発表を目標にグループで協力して取り組む。													
成績評価法	グループワーク時の取り組み、発表内容													
実務経験	尾藤何時夢・味村吉浩・範菜々美（あり／柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	研究の目的													
2	論文の構成													
3	論文検索方法													
4	機材の使用方法													
5	テーマの選定													
6	先行研究検索													
7	先行研究検索													
8	測定プロトコルの作成													
9	測定プロトコルの作成													
10	測定プロトコルの作成													
11	測定プロトコルの作成													
12	測定の実施													
13	測定の実施													
14	測定の実施													
15	測定の実施													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	臨床演習Ⅱ					担当教員名			尾藤何時夢、味村吉浩、範菜々美					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数		1			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	興味のある分野・内容の先行研究を調べ、計測およびデータの収集、発表資料の作成を行う。													
到達目標	学会発表を目標にグループで協力して取り組む。													
成績評価法	グループワーク時の取り組み、発表内容													
実務経験	尾藤何時夢・味村吉浩・範菜々美（あり／柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	測定結果集計、統計処理													
2	測定結果集計、統計処理													
3	中間発表資料作成													
4	中間発表資料作成													
5	中間発表													
6	測定プロトコルの再考													
7	測定プロトコルの再考													
8	測定の実施													
9	測定の実施													
10	測定の実施													
11	測定の実施													
12	測定の実施													
13	測定結果集計、統計処理													
14	測定結果集計、統計処理													
15	測定結果集計、統計処理													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	臨床演習Ⅲ					担当教員名			尾藤何時夢、味村吉浩、範菜々美					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数		1			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	興味のある分野・内容の先行研究を調べ、計測およびデータの収集、発表資料の作成を行う。													
到達目標	学会発表を目標にグループで協力して取り組む。													
成績評価法	グループワーク時の取り組み、発表内容													
実務経験	尾藤何時夢・味村吉浩・範菜々美（あり／柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	発表用PowerPoint・論文作成													
2	発表用PowerPoint・論文作成													
3	発表用PowerPoint・論文作成													
4	発表用PowerPoint・論文作成													
5	発表用PowerPoint・論文作成													
6	発表用PowerPoint・論文作成													
7	発表リハーサル													
8	発表リハーサル													
9	発表リハーサル													
10	発表リハーサル													
11	発表リハーサル													
12	近畿学術大会 発表													
13	近畿学術大会 発表													
14	近畿学術大会 発表													
15	近畿学術大会 発表													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	総合柔道整復学					担当教員名								
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数		1			授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要														
到達目標														
成績評価法														
実務経験														
回数	授業計画													
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校								
					○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語							
授業科目名	柔道整復学実技 I					担当教員名			尾藤 何時夢						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次			
単位数			2		授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中	
授業概要	包帯固定法の基礎を学び、包帯固定法の実技授業														
到達目標	包帯固定法の実技力を身につけると共に包帯理論について理解する														
成績評価法	授業態度と取組20%、中間試験30%、期末試験50%（中間、期末ともに実技能力とする）														
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）														
回数	授業計画														
1	包帯の名称と理論														
2	基本包帯の種類と実技														
3	巻き始めと環行帯の実技														
4	環行帯と蛇行帯の実技														
5	蛇行帯と螺旋帯の実技														
6	折転帯の実技														
7	8字帯（麦穂帯）の実技														
8	亀甲帯（離開と集合）の実技														
9	包帯法各部への応用① 肩や手関節に麦穂帯（上行）の実技														
10	包帯法各部への応用② 肩や手関節に麦穂帯（下行）の実技														
11	包帯法各部への応用③ 隻指帯（せきしたい）の実技														
12	包帯法各部への応用④ 指頭包裏帯、全指帯、総指包裏帯														
13	包帯法各部への応用⑤ 足関節への麦穂帯														
14	三角巾包帯固定法の実技														
15	中間実技試験														
16	包帯と硬性固定材料を用いた固定法の実技① アルフエンス														
17	包帯と硬性固定材料を用いた固定法の実技② プライトン①														
18	包帯と硬性固定材料を用いた固定法の実技③ プライトン②														
19	包帯と硬性固定材料を用いた固定法の実技④ キャストライト														
20	晒包帯を使用した固定法														
21	金属副子（はしご状）の作成と使用実技①														
22	金属副子（はしご状）の作成と使用実技②														
23	基本包帯応用編 股関節包帯固定														
24	基本包帯応用編 肩関節包帯固定														
25	基本包帯応用編 自由上肢関節包帯固定														
26	基本包帯応用編 足関節包帯固定														
27	実技試験に向けての復習（肩麦穂帯、上肢基本包帯、足関節の使用）														
28	実技試験に向けての復習（肩麦穂帯、上肢基本包帯、足関節の使用）														
29	実技試験に向けての復習（肩麦穂帯、上肢基本包帯、足関節の使用）														
30	実技試験														

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
					○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語						
授業科目名	柔道整復実技Ⅱ					担当教員名	栗山 貴行							
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次			3年次			
単位数			1		授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復師の業務内容について学習する。骨折・脱臼・捻挫・打撲・挫傷への診察、処置、留意点について学習する。													
到達目標	柔道整復師が遭遇する外傷について適切な対応ができる。													
成績評価法	定期試験および受講態度を総合的に評価する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	柔道整復術													
2	損傷の診察～固定法													
3	整復・固定後の確認～予後													
4	鎖骨骨折 講義													
5	鎖骨骨折 実技													
6	上腕骨外科頸骨折～上腕骨内側上顆骨折 座学													
7	上腕骨外科頸骨折～上腕骨内側上顆骨折 実技													
8	橈骨近位端部骨折～ベネット骨折 座学													
9	橈骨近位端部骨折～ベネット骨折 実技													
10	中手骨骨幹部骨折～中節骨骨折 座学													
11	中手骨骨幹部骨折～中節骨骨折 実技													
12	上肢の脱臼 座学													
13	上肢の脱臼 実技													
14	軟部組織損傷													
15	期末試験、解説													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
					○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語						
授業科目名	柔道整復学実技Ⅲ					担当教員名		栗山 貴行						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次		3年次				
単位数			2		授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	認定実技審査に向けて、該当項目の診察および整復法・固定法を学習し、実践する。													
到達目標	認定実技審査に該当する項目の診察および整復法・固定法について説明ができ、実践することができる。													
成績評価法	定期試験と受講態度を総合的に評価する。													
実務経験	あり（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）													
回数	授業計画													
1	認定実技審査の説明、鎖骨骨折の診察													
2	鎖骨骨折の整復・固定													
3	上腕骨外科頸外転型骨折の診察・整復													
4	上腕骨骨幹部骨折の診察・固定													
5	コーレス骨折の診察・整復													
6	コーレス骨折の整復・固定													
7	第5中手骨頸部骨折の診察・固定、第2指PIP関節背側脱臼の診察・固定													
8	肩鎖関節脱臼の診察・整復													
9	肩鎖関節脱臼の整復・固定													
10	肩関節前方烏口下脱臼の診察・整復													
11	肩関節前方烏口下脱臼の整復・固定													
12	肘関節後方脱臼の診察・整復													
13	肘関節後方脱臼の整復・固定													
14	肘内障													
15	期末試験、解説													
16	下腿骨骨幹部骨折の診察・固定													
17	肋骨骨折の診察・固定													
18	腱板損傷の診察・検査、上腕二頭筋長頭腱損傷の診察・検査													
19	ハムストリングス損傷の診察・検査、大腿四頭筋打撲の診察・検査													
20	膝関節側副靭帯損傷の診察・検査													
21	膝関節側副靭帯損傷の固定													
22	膝関節側副靭帯損傷の固定													
23	膝管背う十字靭帯損傷の診察・検査													
24	膝関節半月板損傷の診察・検査													
25	下腿三頭筋損傷の診察・検査、アキレス腱断裂の診察・固定													
26	アレスけん断裂の診察・固定													
27	足関節外側側副靭帯損傷の診察・固定													
28	足関節外側側副靭帯損傷の固定													
29	復習													
30	期末試験、解説													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	柔道整復実技IV					担当教員名								
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数			1		授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要														
到達目標														
成績評価法														
実務経験														
回数	授業計画													
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校								
			○			柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語				
授業科目名	柔道整復実技V					担当教員名								
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数			1		授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要														
到達目標														
成績評価法														
実務経験														
回数	授業計画													
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語						
授業科目名	柔道整復実技V					担当教員名								
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数			1		授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要														
到達目標														
成績評価法														
実務経験														
回数	授業計画													
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			和歌山医療スポーツ専門学校								
			○			柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語				
授業科目名	総合柔道整復実技					担当教員名								
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数			1		授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要														
到達目標														
成績評価法														
実務経験														
回数	授業計画													
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校								
					○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語							
授業科目名	臨床実習 I					担当教員名			尾藤何時夢、範菜々美、栗山貴行						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次			
単位数				1	授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中	
授業概要	柔道整復の臨床現場の様子を見学するとともに、補助的な業務に携わる。														
到達目標	患者に対する聴取や検査にはじまり、施術に至るまでの流れを把握し、適切な補助が行えるようになる。														
成績評価法	実習の様子や実習記録などをもって総合的に評価する。														
実務経験	尾藤何時夢・範菜々美・栗山貴行（あり／柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）														
回数	授業計画														
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8	柔道整復の臨床現場の見学 補助的な業務を行う														
9	患者に対する聴取や検査にはじまり、施術に至るまでの一連の流れを見学														
10															
11															
12															
13															
14															
15															

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校								
					○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語							
授業科目名	臨床実習Ⅱ					担当教員名			尾藤何時夢、範菜々美、栗山貴行						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次			
単位数				1	授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中	
授業概要	柔道整復施術所に来所する患者の各傷病について、臨床現場における施術の方法について学ぶ。														
到達目標	各傷病の病態を把握するとともに、各施術の目的や効果について理解を深める。														
成績評価法	実習の様子や実習記録などをもって総合的に評価する。														
実務経験	尾藤何時夢・範菜々美・栗山貴行（あり／柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）														
回数	授業計画														
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8	柔道整復の臨床現場の見学														
9	補助的な業務を行う														
10	患者に対する聴取や検査にはじまり、施術に至るまでの一連の流れを見学														
11															
12															
13															
14															
15															